

東北海区沿岸水温予報(2019年)

海域	経過 (12~1月)	現況(2月上旬~ 2月中旬)	見通し (3~4月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県 太平洋沿岸; 青森水総研発表)	<p>・定地水温:期間を通しておおむね平年並みに推移した。12月は平年並み~やや低め、1月も平年並み~やや低めとなった。</p> <p>・12月の海洋観測の結果、津軽暖流域の表面、50m層、100m層の最高水温はともにやや高めであった。また、津軽暖流の水塊深度は平年並み、東方への張り出しはやや西偏であった。</p>	<p>・定地水温:低め傾向が持続した。2月上旬はやや低め、中旬はかなり低めとなった。</p> <p>・日本海の観測の結果、2月の対馬暖流域の最高水温は各層ともに平年並みであった。</p>	<p>・津軽暖流域の水温は3月中旬以降、平年並み~低めで推移する。</p>	<p>・太平洋および我が国周辺の海況予測(FRA-ROMS)によると、親潮第1分枝は2月中旬から3月中旬にかなり南偏し、4月以降は三陸中南部に張り出す予測となっている。一方、津軽暖流は3月中旬以降極めて弱勢となることが予測されている。</p> <p>・気象庁の季節予報によると、3~4月の気温はやや高めと予測されている。</p>	
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	<p>12月(観測日:11/26、11/27、12/2、12/3) 《表面水温》 10海里以内は、13~17℃台。 県北部では「平年並み」、県中部及び県南部では「やや高め」~「極めて高め」であった。 10海里以遠は、県北部から県中部の20海里以遠で「低め」、県南部の40海里~50海里で「高め」であった。 《100m深水温》 10海里以内は、県南部で「極めて高め」であった。 10海里以遠は、県北部から県中部の20~50海里で「低め」~「極めて低め」であった。 1月(観測日:1/30) 《表面水温》 時化のため、尾崎定線の0~10海里のみの観測となった。 表面水温は1~7℃台で、平年より「低め」~「極めて低め」であった。 《100m深水温》 平年より「極めて低め」であった。</p>	<p>2月(観測日2/12~2/14、2/18~2/19) 《表面水温》 10海里以内は2~7℃台で、県北部では「平年並み」、県中部から県南部では「やや低め」~「極めて低め」であった。 10海里以遠は、県南部の20~50海里で「低め」~「極めて低め」であった。 《100m深水温》 10海里以内は、全域で「やや低め」であった。 10海里以遠は、県北部及び県中部では「平年並み」、県南部では「やや低め」~「低め」であった。</p>	<p>3月の水温予測 《各0海里の10m深》 黒埼定点で「平年並み」、トドヶ埼、尾崎、樺島定点では「やや低め」と予測された。 《100m深》 全域で「平年並み」と予測された。</p>	<p>農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した水温経験的予測システムを用いて解析した。</p>	<p>親潮系冷水の接岸により、2/12に、山田湾と船越湾の定地水温計で1995年以降最低値となる2℃台の水温を観測した。</p>
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	<p>荒天のため欠測。</p>		<p>欠測のため予測不可能。</p>		
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水セ発表)	<p>100m深水温 【12月】 県北:沿岸は「やや高め」、沖合は欠測 県中:沿岸は「やや高め」、沖合は欠測 県南:沿岸は「やや高め」、沖合は欠測 【1月】 県北:沿岸は「やや高め」、沖合は欠測 県中:沿岸は「平年並み」、沖合は欠測 県南:沿岸は「平年並み」、沖合は欠測 ※県北:37-50N、県中:37-25N、県南:37-00N、 沿岸:142-00E以西、沖合:142-15E以東</p>	<p>100m深水温 【2月】 県北:沿岸、沖合ともに「高め」 県中:沿岸は「やや高め」、沖合は「平年並み」 県南:沿岸、沖合ともに「やや高め」</p>	<p>100m深水温 【3月】 「高め」基調で推移する。 【4月】 「高め」基調で推移する。</p>	<p>水温経験的予測システムの自己回帰モデルを用いた水温予測によると、3月の100m深水温は「平年並み」もしくは「やや高め」、4月の100m深水温は「平年並み」で推移すると予測されている。</p> <p>また、気象庁の海面水温・海流1か月予報(2月8日発表)によると、3月10日までの本州東方の海面水温は、「平年並みか平年より低い」見込みとなり、親潮は「沿岸よりの分枝の南限位置が38.5°N、142.5°E付近」、「面積は、平年並み」と予想されている。</p> <p>しかし、FRA-ROMSの100m深予測水温偏差によると、2019年3月上旬から下旬にかけて、親潮系冷水は本県沖合へ大きく逸れ、沿岸域で平年よりも高めで推移することが予測されている。4月上旬の100m深水温予測図においても、本県沿岸への親潮系冷水の波及は弱く、黒潮系暖水の波及が強くなることが予測されている。</p> <p>以上の事から、2019年3月、</p>	

				4月ともに「高め」基調で推移すると予測した。	
常磐南部 ～鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試発表)	12月:黒潮からの暖水波及の影響で、0～100m深で「平年並み～高め」となった。200m深では「やや低め～高め」であったが、やや低めの箇所は、会瀬・大洗定線の沿岸寄りのごく一部のみだった。 1月:黒潮からの暖水波及の影響で、0・50・100m深では「平年並み～やや高め」だった。200m深では概ね「平年並み～やや高め」であったが、大洗定線の一部で「高め」だった。	前月から継続的に黒潮から暖水が波及し、全層で概ね「平年並み～やや高め」だったが、0m・50m・200m深の会瀬定線の一部では「高め」の点も見られた。	「平年並み～やや高め」で推移する見通し。	①2月の海洋観測データを用いて自己回帰分析を実施したところ、3月・4月ともに「平年並み～やや高め」との予測結果となった。 ②FRA-ROMSによると、3月上旬は0m・100m深ともに「やや高め」、4月上旬は0m深で「やや高め」、100m深で「やや高め～高め」で推移する予測となっている。	特になし。

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+3.1℃～	+3.7℃～	+5.8℃～	+5.7℃～	+4.8℃～	+6.1℃～
高い(7.5%)	+2.0～+3.0℃	+2.4～+3.6℃	+3.8～+5.7℃	+3.7～+5.6℃	+3.1～+4.7℃	+4.0～+6.0℃
やや高い(20%)	+0.8～+1.9℃	+1.0～+2.3℃	+1.5～+3.7℃	+1.5～+3.6℃	+1.2～+3.0℃	+1.6～+3.9℃
平年並(40%)	+0.7～-0.7℃	+0.9～-0.9℃	+1.4～-1.4℃	+1.4～-1.4℃	+1.1～-1.1℃	+1.5～-1.5℃
やや低い(20%)	-0.8～-1.9℃	-1.0～-2.3℃	-1.5～-3.7℃	-1.5～-3.6℃	-1.2～-3.0℃	-1.6～-3.9℃
低い(7.5%)	-2.0～-3.0℃	-2.4～-3.6℃	-3.8～-5.7℃	-3.7～-5.6℃	-3.1～-4.7℃	-4.0～-6.0℃
極めて低い(2.5%)	-3.1℃～	-3.7℃～	-5.8℃～	-5.7℃～	-4.8℃～	-6.1℃～